



「楽しく・協力して・夢中になって」

～糸満市立米須小学校 野原友和教諭「体づくり運動」の本検証授業～



1月24日(水)糸満市立米須小学校において野原友和研究員が体育の本検証授業を行いました。野原先生は生涯スポーツの観点から、運動する児童としない児童の二極化傾向の改善と自分たちで話し合っって授業を創っていく思考・判断力の育成をねらって「体づくり運動」を研究テーマに選びました。

本研究では、児童の興味・関心を高めながら、ねらいとする運動技能を高め、さらに話し合いで高め合う協働学習を通して、自ら運動に親しむ児童を育てることを目標としています。

授業では、子どもたち自ら考案したリズム体操でスタートし、「巧みな動き」「体の柔らかさを高める運動」に分かれ、それぞれ自分たちで工夫して作った場で運動を展開しました。

子どもたちは、運動を見せるグループとアドバイスをするグループに別れ、3つの間(時間・空間・仲間)+用具の視点をもって運動を始めました。アドバイスを与える場面では、積極的に他のグループに助言し、受ける側も素直に受け入れ、運動の内容が改善していく様子が見られました。また、準備から片付けまでどの児童もすばやい動きと集中した動作で協力して授業に臨む姿が好印象でした。

指導講師の赤嶺智郎先生(高嶺小学校教頭)からは、学習指導要領の改訂で「体づくり運動」は今後子どもたちに必要とされる学習の要素を多く含み、注目される単元だが、実際は敬遠されがちな現実が伝えられました。そのような状況の中で野原先生は、「楽しく・協力して・夢中になって」をキーワードに自己の課題にあった運動を行う意義を伝え、生涯にわたって運動の重要性を指導することにより、自ら運動に関わる児童の姿を実現した授業を展開しました。会場いっぱい響く子どもたちの歓声と笑顔が印象的なすばらしい授業でした。

<研究テーマ>

自ら運動に親しむ児童を育てる協働学習
～体づくり運動における場の工夫や課題解決の場面を通して～

<研究仮説>

「体づくり運動」において、場の工夫や課題解決の場面を取り入れた授業を展開することで、仲間と協働して関わり合い、自ら運動に親しむ児童を育てることができるであろう。



子どもたちの創意工夫満載の運動



仲間の運動に笑顔でアドバイス



指導講師 赤嶺智郎先生の的確な助言

検証授業を終えて(野原友和教諭)

今日の本検証授業では、体ほぐし運動で創作ダンスを行い、ノリノリの気持ちで授業に入りました。その後、自分達で考えた場を工夫して運動を行い、他のグループからアドバイスをもらって、改善していくという授業展開でした。大勢の人達が見ている中、子どもたちは一生懸命に話し合い、工夫して「場」を創ることができたと思います。授業後の感想では、「今日の授業は、楽しく運動の場を創ることができ、今までの授業で学んだことを存分に発揮できてとても良かったです」とあり、子どもたちの感想からもねらいに沿った授業ができたのではないかと感じました。課題もいくつかありましたが、その課題を修正して今後の「体づくり運動」に生かしていきたいです。検証授業に至るまで、所長・主任指導主事・指導主事・指導講師・研究員・校長先生はじめ、米須小学校職員の皆様にお世話になり、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

